

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	別府大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ベップダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F144310111441
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	大分県
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	科目名	キャリア教育 I II インターンシップ基礎 I II III
	学部・研究科等名	文学部 人間関係学科
	担当教職員名・役職	小嶋 紀博
	受講者数実績年度	令和5年度
	受講者数※キャリア形成支援活動参加者数	33
	受入企業等数	36
	受入企業等名	(株)豊後企画集団ほか
	産学協議会の整理上の類型	3.タイプ3(汎用的能力活用型インターンシップ)
	キャリア形成支援活動の分類	6.低学年(大学1年次~2年次程度)を対象としたキャリア形成支援活動 7.高学年(大学3年次~4年次程度)又は修士課程学生を対象としたキャリア形成支援活動 11.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のキャリア形成支援活動
上記以外のキャリア形成支援活動の分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該キャリア形成支援活動は、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	本学制定の「インターンシップ就業体験実習日報」の中の「研修のポイントと目的」「実習予定表」を企業に説明、企業側から課題の提示を受け、学生とすり合わせを行います。実習終了後は「実習報告書」にて実習で当初掲げた課題やテーマについてどのような成果があったか?を共有しています。
要素②	2-1.当該キャリア形成支援活動を正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、当該取組の実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するキャリア形成支援活動の内容	1.当該キャリア形成支援活動は、教養教育科目として実施している 2.当該キャリア形成支援活動は、キャリア教育科目として実施している 4.当該キャリア形成支援活動は、必修科目として実施している 5.当該キャリア形成支援活動は、選択必修科目として実施している 6.当該キャリア形成支援活動は、選択科目として実施している 7.当該キャリア形成支援活動は、授業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているキャリア形成支援活動の内容	

項目	確認事項	届出内容
	2-3.当該キャリア形成支援活動を実施する年次	大学 学部1年 大学 学部2年 大学 学部3年 大学 学部4年
	2-4.当該キャリア形成支援活動で付与される単位数	大学 8単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細	キャリア教育Ⅰ（1年前期 必修2単位）キャリア教育Ⅱ（2年後期 選択2単位） インターンシップ基礎（2年前期 必修1単位）インターンシップⅠ・Ⅱ（3年生 1～2単位）
	3-1.インターンシップ等の就業体験の実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、キャリア形成支援活動の教育的効果が発揮されるよう就業体験実施期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップ等の就業体験における成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのキャリア形成支援活動の実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容		
要素③	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ等の就業体験実施期間中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	当該企業の業種や職種～HPで確認。当該企業はメインは不動産だが、一口に不動産のなかで売買や賃貸などどんな業務があるのか？をキャリア支援課で助言。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	1日目～5日目までの実習日誌から担当教員と学生で面談。先方のコメント等から評価と今後の学習方針等を共有。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	賃貸管理物件について、社員がお客様役となり、学生が物件のおすすめポイントをプレゼンしたり、班に分かれて遊休地の活用方法を討議する。そのときの注意点を指導・・・など。
要素④	4-1.キャリア形成支援活動の教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をキャリア形成支援活動の実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	
	4-3.上記回答内容に関する詳細	実習日報にて学生企業双方の感想評価を記入する仕組み

項目	確認事項	届出内容
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のキャリア形成支援活動の実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している 3.複数の企業等において就業体験を実施することにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合)	3～5日間
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合)	
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合)	2～3社で就業体験を実施し、合計5日間の就業体験を積ませている。
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	
	5-3.上記回答内容に関する詳細	(株)豊後企画集団で連続5日間の就業体験を行っている。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してプログラムを設計している 7.その他
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	プログラム作成方法が分からない中小企業のために提携案内文を作成し事例を企業に説明。そのベースを元に企業がプランを作成していく
	6-3.上記回答内容に関する詳細	「別府大学企業提携インターンシップに参加しませんか」というパンフレットを大学で作成。メリットや5日間モデルを事例で説明。そこから各企業と協議がやりやすい環境を作っている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://buportal.mc.beppu-u.ac.jp/campusweb/tab.do?buttonName=changeTab&menulv1=000000005
問い合わせ先	大学等名	別府大学
	担当部署名	キャリア支援課
	担当者役職名	課長
	担当者氏名	安部 恭典
	電話番号	0977(66)9623
	メールアドレス	shuushoku@nm.beppu-u.ac.jp